

ご自由にお持ち帰りください

近畿中央病院広報誌

きんき



- Hot Topics：脳神経外科の体制が新しくなりました
- スタッフ紹介：門主任栄養士／お稽古が好き
- 院フォメーション：救急科を新設しました
- 入退院支援室です！
- 稲垣クリニックを紹介します！



公立学校共済組合 近畿中央病院
〒664-8533 兵庫県伊丹市車塚3-1

TEL 072-781-3712 (代表)
URL <http://www.kich.itami.hyogo.jp/>

発行責任者／病院長 甲村 英二
発行／近畿中央病院 広報委員会
発行月／2020年7月 第111号





HOT TOPICS

脳神経外科の体制が新しくなりました

1. 新任医師の紹介

2020年4月より新たに3名の医師が着任しました。甲村病院長は大阪大学助教授を経て2002年より本年3月まで神戸大学脳神経外科教授を務め、脳腫瘍や脳血管障害の外科手術に豊富な経験があります。西野部長は脳血管内治療や神経内視鏡を用いた低侵襲手術を得意としています。寺西医員は初期臨床研修を修了後救急症例数の多い急性期病院で研修を積んでまいりました。

2. 幅広い疾患に24時間対応

頭部打撲・頭痛・めまいなどの一般疾患から、脳卒中・脳腫瘍・重症頭部外傷などの専門的疾患まで幅広い対応が可能です。脳神経内科と協力して平日は夜間も（月曜日午前8時30分より金曜日午後5時15分まで）24時間体制で救急対応を行っています。

3. 急性期脳梗塞に対する血行再建術が可能

脳梗塞は発症数時間以内であれば、血栓で閉塞した脳血管を再開通できれば症状が回復する可能性があります。当院では血栓溶解薬（tPA）の静脈内投与に加えて、カテーテルを用いて直接血栓を除去する方法（脳血管内手術）も24時間対応可能です。

4. 体に対する負担の軽い治療

近年では一部の脳血管障害に対して脳血管内手術により、直接体を切らなくとも治療が出来るようになりました。また開頭手術でも神経内視鏡を用いて従来よりも小さな開頭で手術を行う事が出来ます。当院では症例に応じて、このような低侵襲手術を積極的に行なっています。

地域の皆様の健康づくりに貢献できるよう尽力しますので、今後ともよろしくお願ひします。



左 西野部長、中央 甲村病院長、右 寺西医員



救急科が新設されました



左 新地主任看護師、中央左 生田医長、
中央右 高見副院長、右 水原看護師長

2020年4月から救急科が新設され、救急科医長として赴任いたしました生田 武蔵（いくた たけぞう）と申します。2011年に富山大学を卒業し、近畿中央病院で初期研修を1年間受けた後、兵庫県立尼崎総合医療センター、日本生命病院で救急科と内科の修練を積みました。この度あらためて近畿中央病院で働かせていただくこととなり、とても嬉しく思っております。

診療については、平日時間内は救急科医師が常駐し、各診療科や多職種と協力しながら

行い、休日・時間外の場合は内科系および外科系の医師に加え、循環器科、脳神経科、産婦人科などの医師と連携しながら行います。診療の主となる患者さまは、疾患や重症度にかかわらず、救急搬送された方や、一般外来で救急対応が必要と判断された方となります。

必要に応じて各専門家と連携し、入院加療または外来通院へ繋げていきますが、重症度や緊急度に応じて診察行うため、順番が入れ替わることや数時間お待ちいただくことがありますので、どうかご理解、ご了承ください。

地域の皆さまに信頼されるように、ニーズに応じていきたいと思っております。地域医療に貢献できるように頑張りますので、よろしく願いいたします。





入院支援室です！



副看護部長 立石 敦子

2019年10月からサービスカウンター横に入院支援室が開設されました。入院支援室は地域医療福祉センターの一部門になります。常勤看護師2名と事務員1名が入院決定した患者さまを対象に、入院前から患者さまの情報を聞き取り、介護・福祉サービスの利用状況の確認、褥瘡や栄養状態の評価、退院困難な要因の有無などを直接患者さま、ご家族さまからお伺いします。そして入院生活の説明を行うことで、患者さまの入院や治療への不安軽減が図れ、退院後の生活を見据えた支援を進めていけるよう、関係する多職種と連携を図っていきます。患者さまの情報は病棟看護師、介護・福祉サービスは退院支援室、内服薬については薬剤師、栄養については管理栄養士と各々連携しています。

開設当初は入院支援室に来ていただく対象患者さまを外科の手術予定の方としていました。現在は全診療科とはいきませんが、一部の診療科を除き多くの患者さまにご利用いただいております。患者さまへの聞き取り時間は約20分前後となり、最後にはアンケートもお願いしています。

治療や入院生活についての不安や疑問にお答えし、患者さまの安心につながるよう入院支援室一同頑張っております。ぜひ一度お立ち寄りください。



● 対象となる患者さま

- ①全身麻酔で手術を受ける患者さま
- ②65歳以上かつ5日以上入院予定の患者さま

● お伺いする内容

- ア. 身体的・社会的・精神的背景を含めた患者情報
- イ. 入院前に利用していた介護サービス又は福祉サービス
- ウ. 褥瘡に関する危険因子の評価
- エ. 栄養状態の評価
- オ. 服薬中の薬剤の確認
- カ. 退院困難な要因の有無の評価
- キ. 入院中に行われる治療・検査の説明
- ク. 入院生活の説明

● 場所





近中スタッフ紹介

このコーナーでは、近中スタッフの多彩な側面を紹介しています。

お稽古が好き

主任栄養士 門 敦子



「趣味や特技はなんですか？」と聞かれたとき、私はいつも答えに困ります。それは、私の趣味や特技はたったひとつではないからです。

趣味や特技が多岐にわたってきたのは、思えば幼少期からのお稽古ごとにあっりました。オルガン、ピアノ、英会話、そろばん、水泳、書道、茶道、華道、洋裁、俳画、ガールスカウト活動・・・、ほかにもいろいろと幼稚園のころから少しずつ、兄やおばあちゃんがやっていたお稽古の課題を見よう見まねでやり始めたものも含めると数え切れません。お稽古の数が多すぎて友達と遊ぶのも計画的にしないと遊べない時期もありました。一年で辞めたものもあれば、現在に至るまで長年習っているものもあります。お稽古としては終了していても、今でもふとした時にやりたくなるものも多いので、技術が上がりきらなかったものを趣味、技術が向上したものを特技とでも言うのでしょうか。その意味で、特技の中でも書道については書院を持っても良いという自分の雅号が入った看板までいただき、華道と茶道は母が教室をしていたおかげもあって師範のお免状をいただく事ができました。下手でも日常を忘れて打ち込めるものがあるのは気持ちが良いです。両手で数えきれないほどのお稽古事をしましたが、それぞれの技術の向上だけでなく、それにかかわる人とのつながりもお稽古の楽しみのひとつです。当時の師匠や生徒として共に学んだ仲間たちと今でも食事に行く事もあります。だから、私は「お稽古」そのものが好きなのかもしれません。



初釜の時のお点前の様子



お点前の飾りにも色々あります



未生流の古典的な生け方です



展覧会の際に表装して頂きました



近中ねっとなわーく

近中では、地域の医療機関と機能や役割を分担しながら、患者さまに継続した医療を提供しています。このコーナーでは、当院と連携している医療機関をご紹介します。

稲垣クリニック

院長：稲垣 雅彦 先生

診療科

内科、循環器内科、漢方内科

〒664-0013 兵庫県伊丹市瑞穂町6丁目44番地

☎ 072-780-0017

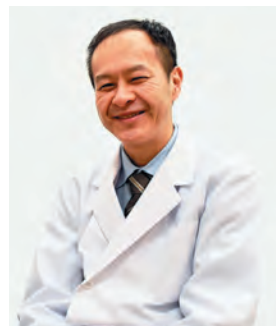
	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前診 9:00~	○	○	○	—	○	○	—
午後診 16:00~19:00	○	○	○	—	○	—	—

12:30 12:30 12:00

12:00 14:00

※診療受付時間は午前は11:50まで、午後は18:50まで（再診、通院中の方）

※初診受付時間は午前は11:30まで、午後は18:30まで



こんにちは、稲垣クリニック院長の稲垣雅彦と申します。

専門病院の一步手前のかかりつけ医として気軽に相談できるクリニックを目指し伊丹市に開業して17年、瑞穂町で12年目を迎えました。循環器内科が専門ですが、内科診療全般にわたり診療を行い、特に生活習慣病の予防と治療に力を入れ、動脈硬化の検査機器も充実させています。

現在は、緩和ケアの研修も取得し、通院が困難な患者さんの在宅訪問診療に力を入れておりますので在宅診療に関するお問い合わせは気軽にご相談ください。伊丹市を中心に宝塚市・川西市・西宮市・尼崎市と広範に訪問可能であり、地域への貢献を目指します。

また、来院される患者さんが安心していただけるよう、スタッフ一同日々研鑽しお待ちしております。